



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月11日

上場会社名 尾家産業株式会社 上場取引所 東
コード番号 7481 URL <http://www.oie.co.jp>
代表者（役職名）代表取締役社長執行役員（氏名）尾家 健太郎
問合せ先責任者（役職名）執行役員管理本部副本部長（氏名）畑中 則行 TEL 06-6375-0151（代表）
半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 2024年12月9日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	58,323	—	1,944	—	1,962	—	1,515	—
2024年3月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2025年3月期中間期 1,339百万円（—%） 2024年3月期中間期 —百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	183.01	—
2024年3月期中間期	—	—

（注）当社は、2024年3月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2025年3月期中間期の対前年中間期増減率並びに2024年3月期中間期の数値及び対前年中間期増減率については記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	36,552	13,564	37.1
2024年3月期	35,411	12,694	35.8

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 13,564百万円 2024年3月期 12,694百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	30.00	—	60.00	90.00
2025年3月期	—	45.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	45.00	90.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 特別配当 30円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	118,700	—	3,420	—	3,510	—	2,430	—	293.62

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期中間期	9,255,000株	2024年3月期	9,255,000株
2025年3月期中間期	966,700株	2024年3月期	979,000株
2025年3月期中間期	8,279,420株	2024年3月期中間期	9,047,683株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 金額の表示単位の変更について

当社の中間連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で

記載しておりましたが、第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度についても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 経営成績等の概況

当社グループは、前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、（1）当中間期の経営成績の概況について、中間連結財務諸表に係る対前年中間期増減率を記載しておりません。

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国の経済は、賃金の引き上げが景気の拡大要因とはなるものの、食品やエネルギー価格、更に人件費の高騰によるインフレ等で、実質的な経済成長は低い状態が続いています。

当社グループの主要取引先であります外食産業におきましては、猛暑と大雨、気象災害等に見舞われながらも、各種イベントの復活、インバウンドの増加等もあり堅調に拡大しました。しかしながら、依然、労働力不足や人件費上昇によるコストアップは続いており、飲食業全体の課題となっています。

このような状況下、当社グループは第5次中期経営計画の骨子である営業重点施策に営業資源を集中させるとともに、外食市場に対して確実に商品を確保し、適正な価格で提供させていただくことに注力いたしました。

2024年8月から9月にかけては秋季提案会を、台風の影響で延期になった1会場を除く13会場で実施しました。天候の影響にもかかわらず当初計画通りの新規来場350社を含む約6,000名のユーザーに会場いただきました。中でも喫食者の満足度を高めるための取り組みとして新たに設けたデザートコーナーの評価が高く、今後、多くの関連商品の採用が期待できます。このような提案会での成果が全国で約5万件の商談に繋がり、現在、早期の成約に向けて活動中です。

ヘルスケアフード業態につきましては4月よりヘルスケア専任チームを増員し、活動エリアを全国に広げ、主要ユーザーに対し積極的にOne to Oneプレゼンテーションを実施しました。また5月から6月にかけて、同業態向けの「やさしいメニュー」提案会を5会場で開催し、目標を大きく上回る1,000名以上のユーザーに会場いただきました。

プライベートブランド商品（以下、PB商品）につきましては、8月から9月にかけて「サンホーム おいしいクリームシチューフレーク」を含む10品を新たに発売し商品の更なる拡充を図りました。「サンホーム ひとくち豆乳ドーナツ」はもちっとした食感とほどよい甘みの特徴で、原料に小麦・卵・乳成分を使用していない点で高い評価をいただき、多くの採用に繋がりました。「サンホーム 豚肩切り落とし（そのままクック）」「サンホーム牛もも切り落とし（そのままクック）」は特殊加工を施した冷凍肉で、気になる肉の臭みを抑え、冷めても柔らかくしっとりとした仕上がりになる点が、咀嚼課題を抱えるヘルスケア業態のユーザーで高く評価され新規採用が進んでいます。これらの商品政策及び既存商品の取り扱い促進に努めた結果、PB商品全体の売上は前年同期比107%と大きく伸長しました。

ECビジネスにつきましては新たに専任担当を配置し、特に楽天市場での売上拡大に注力しました。当社グループ独自のPB商品の取扱いアイテムの拡大を図るとともに、購入金額により送料を無料化しました。これらによりアクセス数も増加、今後は飲食店ユーザーからの新規受注も増えることが予想されます。

物流に関しましては、庫内の管理・運営の効率化に向け、商品の仕分けや棚卸作業の機械化を進めています。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高583億23百万円、営業利益19億44百万円、経常利益19億62百万円、親会社株主に帰属する中間純利益15億15百万円となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間連結会計期間末の総資産は、365億52百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億40百万円の増加となりました。

主な要因は、現金及び預金が18億69百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が6億23百万円減少したことによります。

（負債）

負債は229億88百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億71百万円の増加となりました。

主な要因は、買掛金が11億30百万円増加した一方で、未払金が4億58百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億46百万円、未払法人税等が1億5百万円減少したことによります。

（純資産）

純資産は135億64百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億69百万円の増加となりました。

主な要因は、利益剰余金が10億18百万円増加したことによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月10日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、2024年11月8日に公表いたしました「2025年3月期第2四半期（累計）連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,990	5,860
受取手形及び売掛金	15,045	14,422
商品	3,285	3,608
未収入金	1,657	1,175
その他	49	107
貸倒引当金	△8	△6
流動資産合計	24,021	25,166
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,519	10,593
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,203	△6,406
建物及び構築物（純額）	4,315	4,187
機械装置及び運搬具	454	467
減価償却累計額及び減損損失累計額	△360	△368
機械装置及び運搬具（純額）	94	99
工具、器具及び備品	545	570
減価償却累計額及び減損損失累計額	△425	△452
工具、器具及び備品（純額）	120	117
土地	2,280	2,280
建設仮勘定	19	295
有形固定資産合計	6,830	6,980
無形固定資産		
のれん	58	52
ソフトウェア	122	131
その他	27	27
無形固定資産合計	208	211
投資その他の資産		
投資有価証券	1,057	763
差入保証金	2,275	2,362
繰延税金資産	858	907
その他	209	207
貸倒引当金	△49	△46
投資その他の資産合計	4,351	4,193
固定資産合計	11,390	11,385
資産合計	35,411	36,552

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,485	16,616
1年内返済予定の長期借入金	209	62
リース債務	57	49
未払金	599	141
未払費用	1,770	1,731
未払法人税等	846	741
賞与引当金	902	805
資産除去債務	4	4
その他	125	67
流動負債合計	20,000	20,217
固定負債		
長期借入金	115	88
リース債務	43	60
役員退職慰労引当金	200	218
資産除去債務	756	758
退職給付に係る負債	1,465	1,509
その他	134	134
固定負債合計	2,716	2,770
負債合計	22,716	22,988
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,305	1,305
資本剰余金	1,233	1,240
利益剰余金	10,938	11,957
自己株式	△1,515	△1,496
株主資本合計	11,962	13,007
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	477	304
退職給付に係る調整累計額	254	252
その他の包括利益累計額合計	732	556
純資産合計	12,694	13,564
負債純資産合計	35,411	36,552

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	当中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）
売上高	58,323
売上原価	47,351
売上総利益	10,972
販売費及び一般管理費	9,028
営業利益	1,944
営業外収益	
受取利息	2
受取配当金	7
受取賃貸料	8
貸倒引当金戻入額	2
雑収入	8
営業外収益合計	29
営業外費用	
支払利息	1
賃貸費用	0
和解金	9
雑損失	0
営業外費用合計	11
経常利益	1,962
特別利益	
投資有価証券売却益	249
特別利益合計	249
税金等調整前中間純利益	2,212
法人税、住民税及び事業税	670
法人税等調整額	26
法人税等合計	697
中間純利益	1,515
親会社株主に帰属する中間純利益	1,515

中間連結包括利益計算書

	(単位：百万円)
	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1,515
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△172
退職給付に係る調整額	△2
その他の包括利益合計	△175
中間包括利益	1,339
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	1,339
非支配株主に係る中間包括利益	—

（3）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。